

言心先生の中国便り

台湾の選挙

一月十四日、台湾の総統と立法院の選挙が、実施された。大陸出身の筆者は、この選挙に、異常な関心を持って、最近2、3ヶ月の間、毎日これに関するニュースをチェックしている。

日本に来る前に、一度中国の地方代議士選挙に参加した。その時、候補者は、政府側が全員指名したため、筆者は、棄権した。日本の国籍を取った十数年間、日本の国政選挙、地方選挙をすべて投票し、心から幸せと感じた。当然、中国大陸の友人達も、公平・公正の国のリーダーを選びたいが、なかなかチャンスがなく、筆者は羨ましいと言われる。彼らは、よく手で投票できないならば、つま

り、海外に移民することである。

中国人と海外の華僑の人口は、世界の人口で、大きな割合を占めている。しかし、絶対多数の華人は、自由に投票する権利を持たず、台湾は、唯一民主的に自分のリーダーを選挙で選べる国である。今回の台湾選挙に対して、大陸の人々は高い関心を持っている。中国の「微博」(ミニブログサイト)で、「台湾選挙」「馬英九」は、一番多く検索された漢字である。わざわざ台湾に旅行に来た相当数の大陸の客は、観光に行かず、ホテルにこもって選挙のニュースと候補者の論争をテレビで鑑賞する。中国人より、政治に関心を持つ人種は、存在しないかもしれない。

選挙は、ただ国・地域のリーダーを選ぶことだけではなく、この国・地域の住民の道德水準・社会意識

を高める重要な役割があると思う。地球上、民主的な選挙を実施できる国と、出来ない国を比べたら、道德の上下、秩序の優劣、主人公意識の有無等の面で、雲泥の差が、直ぐに分かってくる。勿論、民主的な選挙の施行中にも、選挙買収・悪意攻撃等の良くないことが存在する。しかし、これは、民主的な社会が、払うべきコストである。不完全で汚れがある民主社会は、表面上が綺麗な、完璧な専制社会

より遥かに良いことは、言うまでもない。

今回の台湾選挙は、平和的に幕を落とした。大多数の台湾の皆さんが、生活の安定と人選の清廉という基準で一票を投じた。筆者の予想通り、本当に良いことだと感じている。政治好きな中国大陸の国民が、台湾の国民と同じように、自分の良知に従って、自分の手で投票する日が、早く到来することを、真剣に祈っている。

